

## 三菱キッチンドライヤー(家庭用)

# 取扱説明書

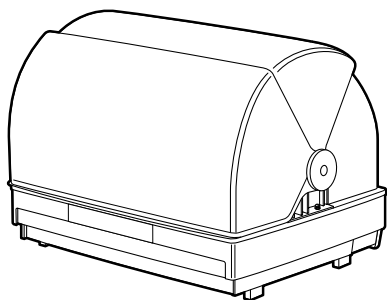
### 形名

ティーケー エスティー エー

# TK-ST30A

ティーケー イー エスエー

# TK-E100SA



- ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- 「保証書」は「お買上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受取りください。
- 「取扱説明書」と「保証書」は、大切に保存してください。

## もくじ

ページ

### ご使用前に

仕様	表紙
安全のために必ずお守りください	2
各部のなまえ	3
準備	4

### 使いかた

使いかた	4~5
------	-----

### こんなときは

ふたの取りはずしかた	6
お手入れ(消耗部品)	7
故障かな?と思ったら	7
保証とアフターサービス	裏表紙

この製品は、日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。  
また、アフターサービスもできません。  
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.  
No servicing is available outside of Japan.

### 製品登録のご案内

ご購入製品の登録をしていただくと、製品に関するサポート情報や生活に役立つ情報などを提供させていただきます。

#### 二次元コードから登録

本体背面の二次元コードを読み取ると、形名と製造番号を入力することなくカンタンに登録いただけます。



二次元  
コード  
サンプル

#### Webから登録

「三菱電機製品登録」で検索してください。

三菱電機製品登録

検索

## 仕様

電源	交流100V 50-60Hz	標準食器量 6人分	大皿(19~27cm) 2枚 中皿(16~19cm) 6枚 小皿(16cm未満) 6枚 茶わん・汁わん・湯のみ 各6コ はし・フォーク・スプーン 各6人分
消費電力	265W	脚間寸法	幅441×奥行275mm
タイマー	電子式タイマー	まな板サイズ	最大 幅250×長さ420×厚さ30mm
安全装置	ヒーター用温度ヒューズ(142℃) 温度過昇防止用サーモスタット(自動復帰式) モーター用温度ヒューズ	質量	4.8kg
外形寸法	幅489×奥行401×高さ359mm(ふた開口時) 376mm	付属品	はし立て 1コ、排水ホース(100cm) 1本
コードの長さ	1.4m		

# 安全のために必ずお守りください

■お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。  
■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の区分で説明しています。

**警告** 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性があるもの

**注意** 誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの

■図記号の意味は次の通りです。 (本体表示)

禁止

分解禁止

接触禁止

水ぬれ禁止

指示を守る

電源プラグを抜く

感電注意

**警告**

<p> 傷んだ電源コード・プラグや差込みのゆるいコンセントは使わない (感電・ショート・発火の原因)</p>	<p> 電源プラグの刃、および刃の取付面のほこりをとる (ほこりが付着していると、火災の原因)</p>
<p> 電源コード・プラグを傷つけない (重い物をのせたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、束ねたり、加工したりすると、破損して感電・発火の原因)</p>	<p> 電源は交流100Vで定格15A以上のコンセントを単独で使う (コンセントを他の器具と同時に使ったり、机や家具のコンセントを使うと、異常発熱して、発火・火災の原因) *延長コードも定格15A以上のものを単独でお使いください。</p>
<p> お子さまだけで使わせない 幼児の手の届くところで使わない (やけど・感電・けがの原因)</p>	<p> 異常・故障時には直ちに使用を中止する (発煙・発火・感電を防ぐため)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●電源コードやプラグが異常に熱い。</li> <li>●異常な振動や音がする。</li> <li>●電源が入らない。</li> <li>●その他の異常・故障がある。</li> </ul> <p>→故障や事故防止のため、電源プラグを抜いてから、必ず販売店にご連絡ください。</p>
<p> 分解・修理・改造をしない (感電・発火・けが・異常動作の原因) *修理は、お買上げの販売店または「三菱電機修理窓口」にご相談ください。</p>	
<p> 水につけたり、水をかけたりしない (感電・ショートの原因)</p>	

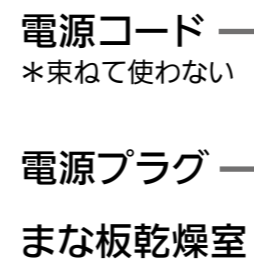
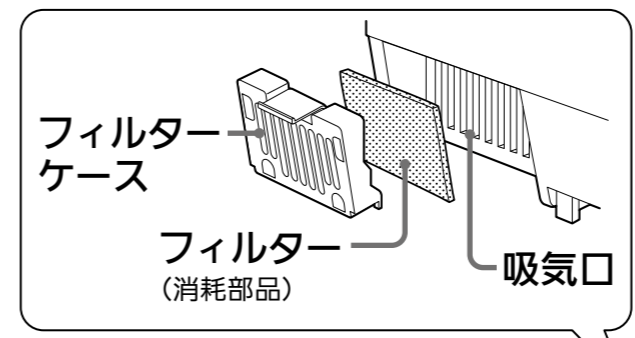
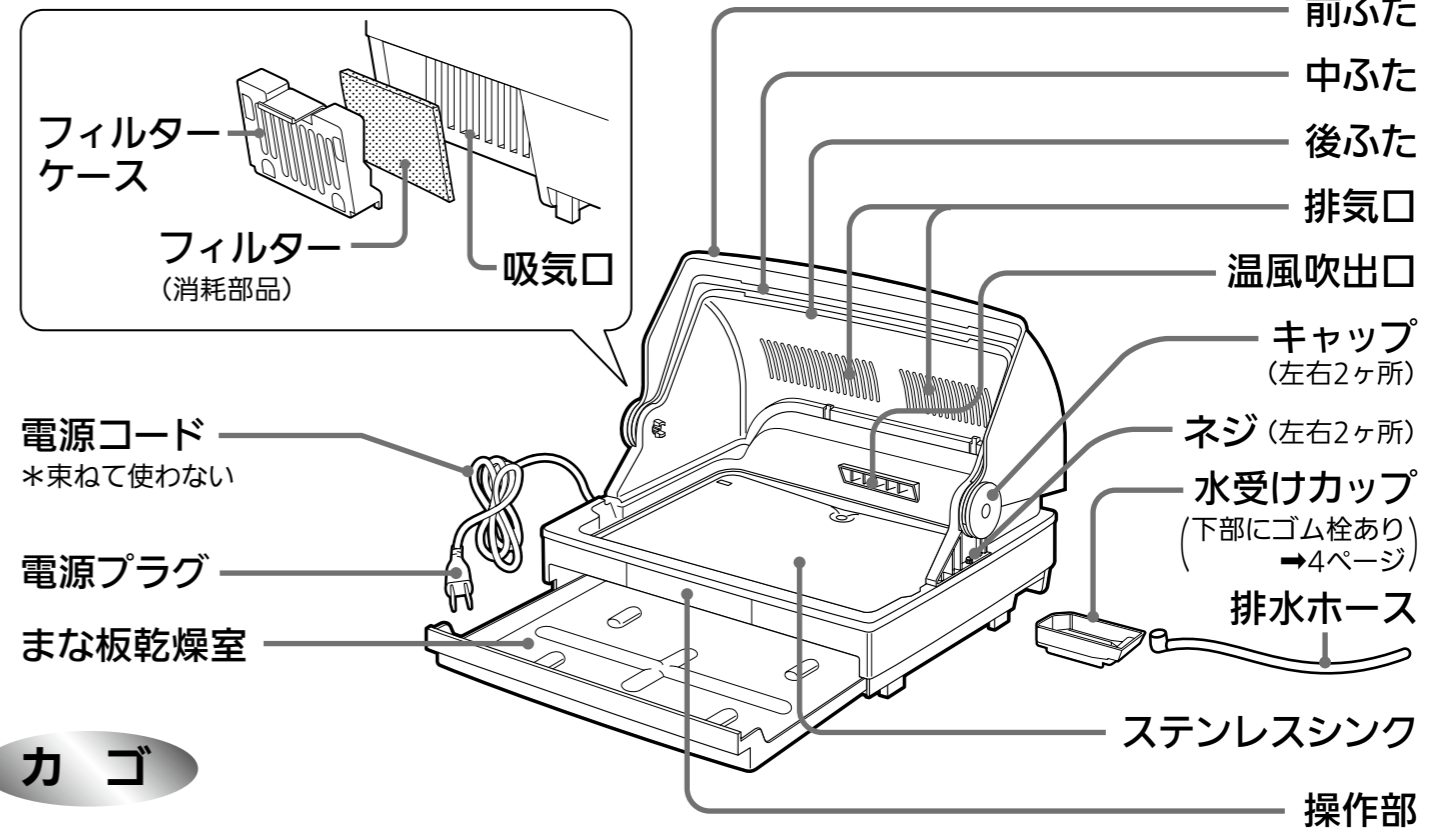
**注意**

<p> ガスコンロ等の炎や熱気のある所に置かない (火災の原因) *油の飛び散る所にも置かないでください。</p>	<p> ピンや針金などの異物を入れない (感電の原因)</p>
<p> 包丁は収納しない (誤って刃先に触れたり、落下によるけがの原因)</p>	<p> 電源プラグを持って抜く (電源コードを持って引き抜くと、感電・ショート・発火の原因)</p>
<p> 使用中、使用直後は本体内部(特に温風吹出口)や食器などが熱いので触らない (本体・ステンレスシンク・食器カゴなどに) (触れることでやけどの原因) *食器は十分冷めてから取出してください。</p>	<p> お手入れは必ず電源プラグを抜き、本体が冷めてから行う (やけどを防ぐため)</p>
	<p> 使用時以外は、電源プラグを抜く ぬれた手で抜差ししない (絶縁劣化による感電・漏電・火災を防ぐため)</p>

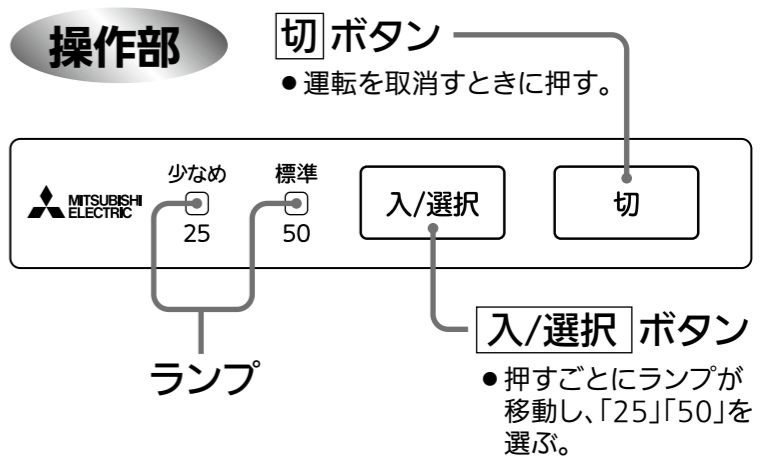
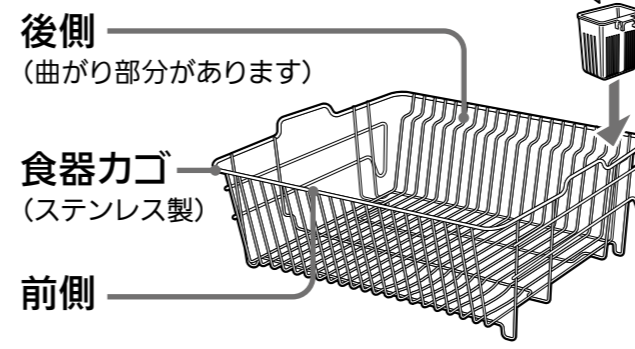
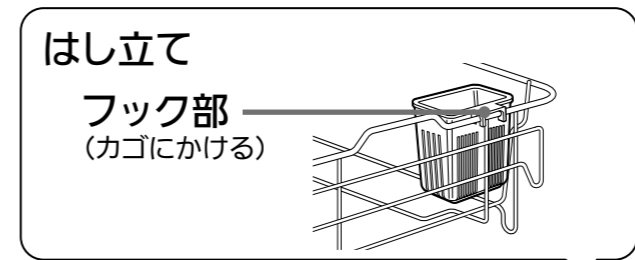
<b>お願い</b>	傾けて置かない (排水しにくく、水もれの原因)	食器の乾燥以外に使わない (故障の原因)
	ふたにふきんなどをかけない (変形・変色・故障の原因)	熱に弱いものや以下の食器は入れない ●ひびの入った食器(割れの原因)、漆塗りの食器(変形の原因) ●カットグラス・クリスタルガラス(割れの原因) ●耐熱温度100℃以下のもの、スチロール製のもの、耐熱温度表示のないもの(変形の原因)
	吸・排気口や温風吹出口をふさがない (変形・故障の原因)	

# 各部のなまえ

## 本体



## カゴ



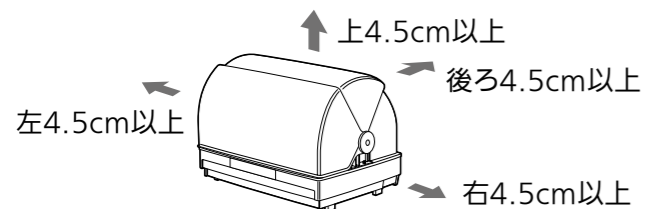
## <抗菌について>

抗菌の確認試験機関名	(一財)日本食品分析センター	(一社)京都微生物研究所 または 大和化学工業(株)評価技術センター	(一財)ボーケン品質評価機構	(一財)ボーケン品質評価機構
試験方法	JIS Z 2801に基づく	JIS Z 2801に基づく	JIS Z 2801に基づく	JIS Z 2801に基づく
抗菌の方法	ステンレス鋼に添加	樹脂に添加	樹脂に添加	印刷
抗菌の処理を行っている部品名称	ステンレスシンク	排水ホース	はし立て (TK-ST30A)	入/選択・切ボタン (TK-ST30A)
試験結果	99%以上	99%以上	99%以上	99%以上

# 準備

## 設置場所

- 可燃物から下記の距離をはなす
- 本体の前面は開放して使う



消防法 基準適合

次の場所では使わない(変形・故障の原因)

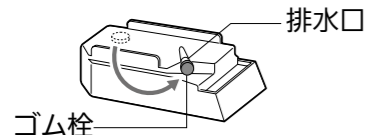
- 電子レンジの上や近く
- 油の付着しやすいところ
- 熱に弱い物の上  
(耐熱温度70℃以下の物やビニールシートなど)

## 水受けカップの確認

- 奥まで確実に入れる

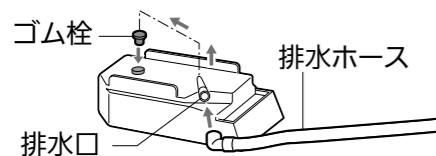
### 排水ホースを使用しないとき

- 水は毎回捨てる
- 排水口にゴム栓がついていることを確認する

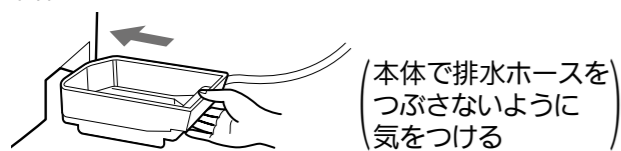


### 排水ホースを使用するとき

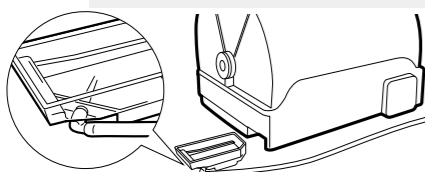
- ①水受けカップを本体から取出す
- ②排水口のゴム栓をはずし、かわりに排水ホースを取付ける(はずしたゴム栓は底面に取付けて保管する)



- ③排水ホースの先端をシンクに向け、水受けカップを本体にセットする



排水ホースを本体の後側に通して、反対側に排水することもできます



## フィルターの確認

- フィルターをはずしたまま使わない(ゴミやホコリが入り、故障の原因)

# 使いかた

## 1 食器、まな板を入れて、ふたを閉める

**注意** 包丁は収納しない  
(誤って刃先に触れたり、落下によるけがの原因)

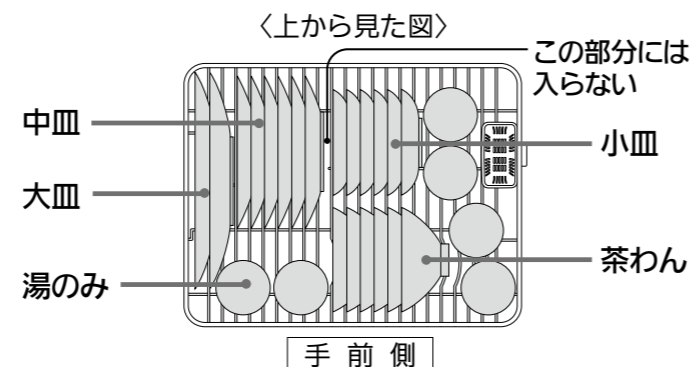
### お願い

- ふたの開閉は静かに行う(割れ・故障を防ぐため)
- 食器カゴの向きを正しくセットする(ふたとの接触を防ぎ、傷・がたつきを防ぐため)
- 専用の食器カゴ以外は使わない(変形・故障の原因)
- 食器は食器カゴをセットしてから並べ、大皿はカゴの枠にたてかける(たおれて割れるのを防ぐため)
- 熱に弱い物(2ページ「お願い」)は入れない(変形・割れの原因)
- ふたは確実に閉める(ふたが開いていると乾きが悪くなる)
- まな板乾燥室を開閉するときは、(入/選択)を押さないよう気をつける
- 後ふたのネジがゆるんでいるときは締める(振動音を防ぐため)

### お知らせ

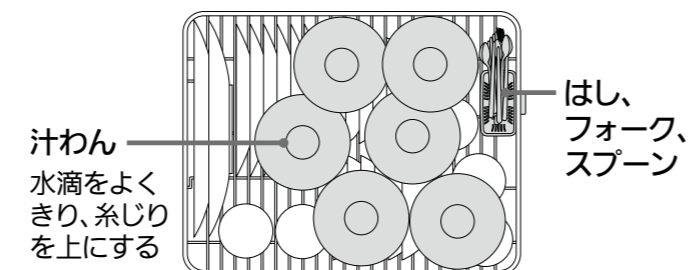
- ステンレスシンクをはずしても使用できます。
- ふたとふたの間は、乾燥向上のためにスキマがあいています。

### ①皿、茶わん、湯のみを並べる(左側から並べる)

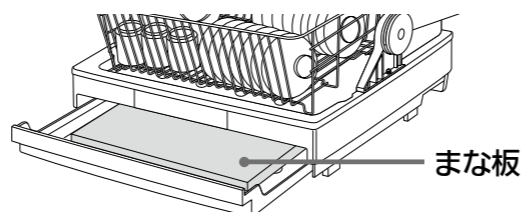


食器の種類により食器が立たなかつたり並べにくいことがあります。

### ②汁わんをのせ、はしなどを入れる

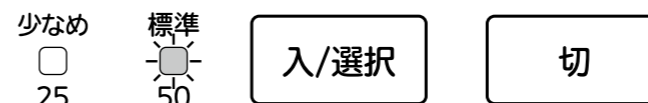


### ③まな板をまな板乾燥室に入れる (最大寸法 幅250×長さ420×厚さ30mm)



## 2 電源プラグを差込み、乾燥時間を選ぶ

例)「50」を選んだとき



- (入/選択)を押すごとに、少なめ「25」→標準「50」をくり返す。
- (入/選択)を押して乾燥時間を設定すると、ランプが点灯し、運転が始まる。
- 運転が終了すると、ランプが消灯する。

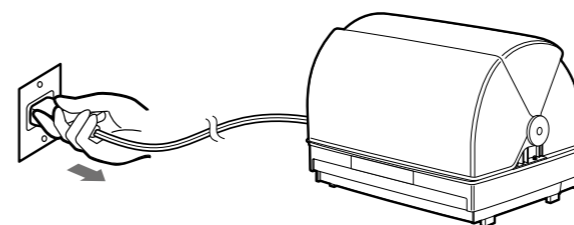
約25(分)	食器の量が少ないとき、食器をあたためるとき、乾燥を追加するとき
約50(分)	標準食器量の乾燥時間(湿度65~90%の場合)

### お知らせ

- 食器の量や並べかたなどにより、乾きが悪い場合があります。そのときは、25分追加してください。
- 運転中に電源プラグを抜いたり、停電したときは、「切」の状態になります。はじめから操作をやり直してください。

## 使用後は

- 水受けカップにたまった水は捨てる。(水があふれて水もれを防ぐため)
- 電源プラグを抜く。
- 食器、まな板が冷めてから(約30分後)取出す。



## 注意

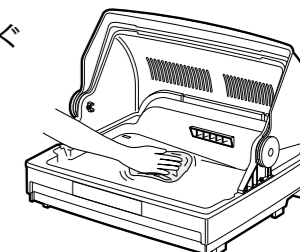
使用時以外は、電源プラグを抜く  
(絶縁劣化による感電・漏電・火災を防ぐため)  
\*「切」の状態でもマイコン回路で約1.2Wの消費電力がある

使用中、使用直後は本体内部(特に温風吹出口)や食器などが熱いので触らない  
(本体・ステンレスシンク・食器カゴなどに触れることでやけどの原因)  
\*食器は十分冷めてから取出してください。

## 上手な使いかた

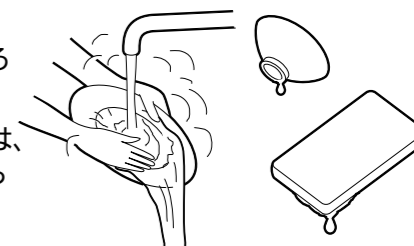
食器カゴの下にたまった水滴はこまめにふきとる

- カルキが付着し、取れにくくなるのを防ぐ



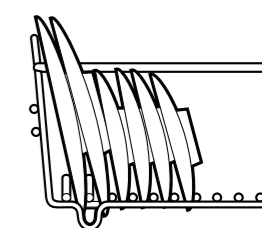
## お湯で洗い、水をよくきる

- お湯で洗うと乾きやすくなる
- 糸じりやまな板の水滴は、よくきってから入れる



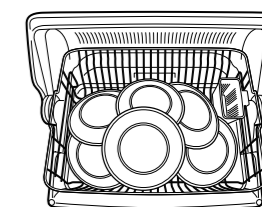
## 食器を入れすぎない

- 空気の流れをよくして、食器に温風がいきわたるようにする



## お皿が立たなかつたり、並べにくいとき

- 適度に間隔をあけて、積み重ねて並べる  
乾きが悪いときは、時間を追加する



## 木製のまな板の乾燥は

- 乾いたまな板は入れない(ひび、変形の原因)
- お湯で洗い、水滴をよくきってから入れる
- 乾燥時間は長めにする
- 乾燥後、入れたままにしておかない(まな板がよく洗えてないとカビの原因)

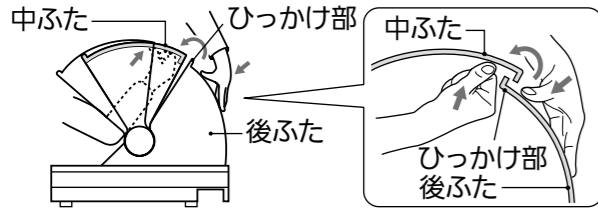
# ふたの取りはずしかた

お願い

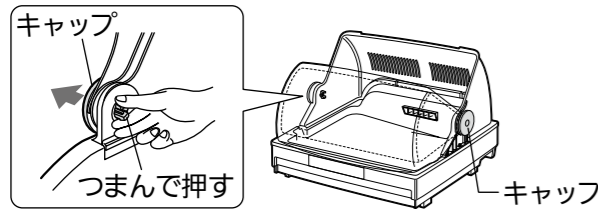
- 指をはさまないように気をつける
- ふたの両側をしっかり持って外側に広げながらゆっくりと行う(ふたが割れるのを防ぐため)
- ふたはていねいに扱う(ふたが割れるのを防ぐため)

## はずしかた

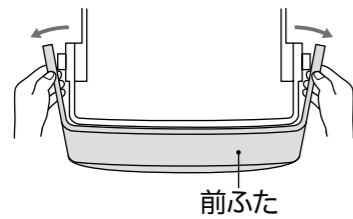
1. カゴを本体からははずす
2. 図のように後ふたと中ふたを押しながら、ひっかけ部をのりこえさせる(左右2カ所)



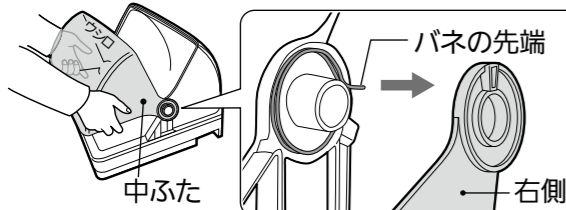
3. キャップをはずす(左右2カ所)  
図のようにつまんではずす



4. 前ふたをはずす  
外側に広げながらはずす

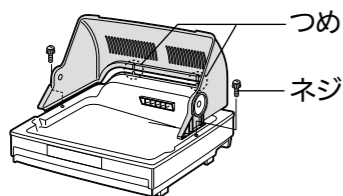


5. 中ふたをはずす  
①図のように中ふたの右側を外側に広げ、中ふたからバネの先端を抜く  
\*必ず右側からははずす  
(左側からははずすとバネが抜けにくい)



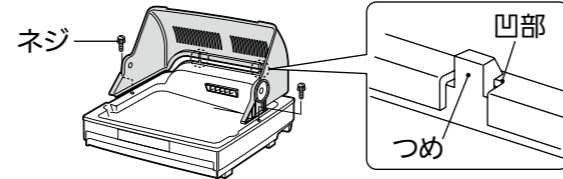
②左側をはずす

6. 後ふたをはずす  
ネジ(左右2カ所)をはずし、つめ(左右2カ所)からははずす

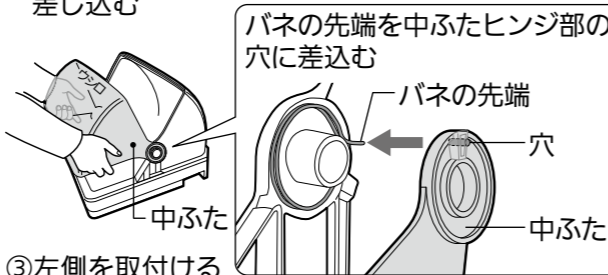


## 取付けかた

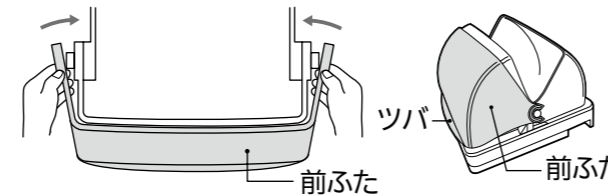
1. 後ふたを取付ける  
凹部(左右2カ所)を、つめ(左右2カ所)に差し込み、ネジ(左右2カ所)を締める



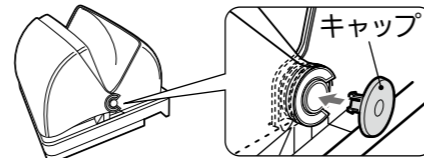
2. 中ふたを取付ける  
①ふたの前後を確認する  
(中ふたの後側には「ウシ口」の表示がある)  
②図のように右側のパネの先端を中ふたの穴に差し込む



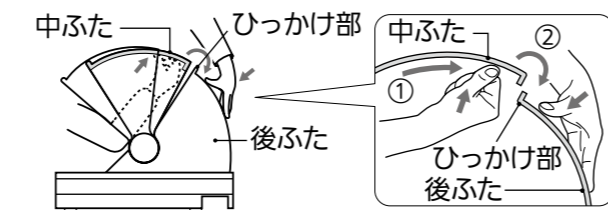
3. 前ふたを取付ける  
①ふたの前後を確認する  
(前ふたの前側にはツバがある)  
②中ふたにかさね、前ふたの両側を外側に広げながら取付ける



4. キャップを取付ける  
「カチッ」と音がするまでしっかり押し込む  
(左右2カ所)



5. ふたをつなげる  
①中ふたを後ふたまで引きよせる  
②図のように中ふたと後ふたを押しながら後ふたのひっかけ部をのりこえさせる(左右2カ所)



# お手入れ

水あかがつきやすいため、こまめにお手入れしてください。



**警告** 水につけたり、水をかけたりしない(感電・ショートの原因)



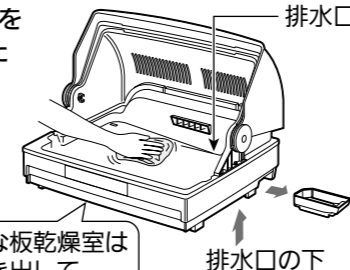
**注意** お手入れは必ず電源プラグを抜き、本体が冷めてから行う(やけどを防ぐため)

お願い

- シンナー、ベンジン、みがき粉、たわしなどは使わない(傷・変形の原因)

## 本体・ふた・庫内・まな板乾燥室・排水口

- うすめた台所用中性洗剤を含ませた布でふき、乾いた柔らかい布でふく
- 排水口は特に汚れやすいので、こまめにふく  
汚れがひどいときは、排水口の下からふく(水もれの原因)



まな板乾燥室は引き出して、上下に動かしながらはずす

お願い

- ふたを強い力で手前に引っ張らない(故障の原因)

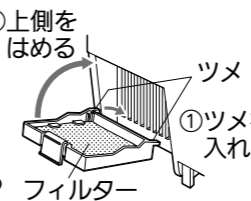
お知らせ

- ふたは、はずせませ。→6ページ
- ふたの取付け部には、ふたの滑りを良くするため、グリスが塗ってあります。通常は、ふき取らないでください。
- ふたを洗い、グリスがついてないときは、別売のふたグリス(消耗部品)を塗ってください。
- \*ふたグリスは三菱専用をお使いください。(専用以外のものを使うとふたが破損することがあります。)

## フィルター・フィルターケース

1ヵ月に1回程度(ホコリがたまると乾きが悪くなる原因)

1. 本体からフィルターケースをはずす
2. フィルターを取出し、軽くたたいてホコリをとる  
汚れがひどいときは、水洗いし、よく乾かす
3. フィルターケースを水洗いし、よく乾かす
4. フィルターをフィルターケースに取付ける
5. 本体にフィルターケースを取付ける



## 消耗部品

フィルター、ふたグリスは消耗部品です。お買い上げの販売店でお買求めください。

〈フィルター〉  
部品コード:M16 759 349F

ご使用により、傷んできたなら、取りかえてください。

〈ふたグリス〉  
部品コード:M16 754 630

お手入れでふき取ってしまったら、塗ってください。

# 故障かな?と思ったら

当社ホームページ「よくあるご質問 FAQ」もご活用ください。  
<https://faq01.mitsubishielectric.co.jp/>



修理などを依頼される前に取扱説明書をよくお読みの上、下記の点をお調べください。

現象(症状)	原因の確認および処置(操作)方法
運転しない	●電源プラグは確実に差込まれていますか。
乾きが悪い	●フィルターが目詰まりしていませんか。→「お手入れ」 ●食器を入れすぎていませんか。間隔を開けて食器を並べていませんか。 ●ふたは確実に閉まっていますか。
本体の下側から水がもれる	●水受けカップは奥まで確実に入っていますか。水がいっぱいになっていませんか。 ●水受けカップ、排水ホースに水あかや、ゴミが付着していませんか。→「お手入れ」 ●排水ホース、ゴム栓が外れていませんか。→4ページ ●排水口が汚れていませんか。→「お手入れ」 ●庫内を水洗いしませんでしたか。
温風が90℃より低い	●90℃は温風吹出口1cmで室温30℃の時です。室温により変化します。

以上のことをお調べになって、それでも不具合があるときは使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

# 保証とアフターサービス

## ■保証書(別添)

- 保証書は、必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。保証書は内容をよくお読みのと、大切に保存してください。

### 保証期間

お買上げ日から1年です。  
保証期間内でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。ただし、下記の部品は消耗部品ですので、保証期間内でも有料とさせていただきます。  
(フィルター)・(ふたグリス)

## ■補修性能部品の保有期間

- 当社は、このキッチンドライヤーの補修性能部品を製造打ち切り後6年保有しています。
- 補修性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## ■ご不明な点や修理に関するご相談は

- お買上げの販売店か下記の「三菱電機 ご相談窓口・修理窓口」にご相談ください。

## ■修理を依頼される時は(持込修理)

- 「故障かな?と思ったら」(取扱説明書記載 7ページ)にしたがってお調べください。
- なお、不具合があるときは、必ず電源プラグを抜いてから、お買上げの販売店にご連絡ください。

## ●保証期間中は

保証書の規定にしたがって、修理させていただきます。なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

## ●保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。ただし、補修性能部品の保有期間が過ぎている場合は、修理できないことがあります。

## ●修理料金は

技術料+部品代(+出張料)などで構成されています。

- 技術料…製品の点検や故障した製品を正常に修復するための料金です。
- 部品代…修理に使用した部品代金です。

## ●修理部品は

部品共有化のため、色等を変更する場合があります。

## ●ご連絡いただきたい内容

- 1.品名 三菱キッチンドライヤー
- 2.形名 本体背面のラベルに表示
- 3.お買上げ日 年 月 日
- 4.故障の状況 (できるだけ具体的に)

## ●便利メモ

お買上げ販売店名

電話番号

- この製品は、日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

## ご相談窓口・修理窓口のご案内(家電品)

取扱い・修理のご相談は、まず  
**お買上げの販売店へ**

- お買上げの販売店にご依頼できない場合(転居や贈答品などは)、**各窓口**へお問い合わせください。

## ■お問合せ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。

- 1.お問合わせ(ご依頼)いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的ならびに製品品質・サービス品質の改善、製品情報のお知らせに利用します。
- 2.上記利用目的のために、お問合わせ(ご依頼)内容の記録を残すことがあります。
- 3.あらかじめお客様からご了解をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
  - ①上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
  - ②法令等の定める規定に基づく場合。
- 4.個人情報に関するご相談は、お問合わせをいただきました窓口にご連絡ください。

## ご相談窓口 家電品の購入相談・取扱い方法

受付時間365日24時間

### ●三菱電機お客さま相談センター

フリーダイヤル 0120-139-365 (無料)  
いつもサンキュー 365日  
■ご相談対応 平日 9:00~19:00  
土・日・祝・弊社休日 9:00~17:00  
上記以外の時間は受付のみ可能です。  
〒154-0001 東京都世田谷区池尻 3-10-3

携帯電話の場合

TEL 0570-077-365 (有料)

FAX 0570-088-365 (有料)

フリーダイヤル・ナビダイヤルをご利用いただけない場合は  
TEL 03-3414-9655 FAX 03-3413-4049

## 修理窓口 家電品の修理の問合せ・修理の依頼

受付時間365日24時間

### ●三菱電機修理受付センター

パソコン・スマートフォン [www.melco.jp/support/](http://www.melco.jp/support/)  
こちらから簡単にアクセスできます。



フリーダイヤル 0120-56-8634 (無料)

携帯電話の場合

TEL 0570-01-8634 (有料)

FAX 0570-03-8634 (有料)

●所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

●電話番号をお確かめのうえ、お間違えのないようおかけください。

K22A

## 愛情点検



★長年ご使用のキッチンドライヤーの点検を!

こんな症状は  
ありませんか

- 電源コードやプラグが異常に熱い。
- 異常な振動や音がある。
- 電源が入らない。
- その他の異常・故障がある。

ご使用  
中 止

事故防止のため、電源プラグ  
を抜き、販売店に点検・修理を  
ご相談ください。

三菱電機株式会社  
三菱電機ホーム機器株式会社

〒369-1295 埼玉県深谷市小前田1728-1

ZT934Z908H01A